



未来の学びを、 いま教室へ。

参加費
無料

Society 5.0時代の「新たな『学び』」体験ワークショップ

私たちは、Society 5.0時代に求められる「新たな『学び』」をデザインし、開発することを目指しています。

本イベントを通じて、学習指導要領改訂の方向性やデジタルツールの活用を踏まえつつ、

理念にとどまりがちな「新たな『学び』」を、

学校や自治体といった現場で実装するための視点と実践のヒントをご提供できればと考えます。

お誘い合わせの上、ご参加ください。

2026年

7月12日 日

13:30～17:40 開場 13:00～

定員 会場150名、オンライン500名

参加対象 学校教職員、教育委員会関係者、その他教育関係者

申込方法 下記サイトまたは二次元コードから
アクセスしてお申し込みください。
https://globaleysurvey.ey.com/jfe/form/SV_8A2wE12yKbqzmn4



応募締切 現地参加:2026年7月5日(日)正午
※懇親会参加:6月28日(日)正午
オンライン参加:2026年7月10日(金)正午

会場 TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター
東京都新宿区市谷八幡町8番地 TKP市ヶ谷ビル

JR総武線 市ヶ谷駅 徒歩2分
東京メトロ 市ヶ谷駅 7番出口 徒歩1分
都営新宿線 市ヶ谷駅 4番出口 徒歩2分



戦略的イノベーション創造プログラム
Cross-ministerial Strategic Innovation Promotion Program

主催: 国立研究開発法人
科学技術振興機構
Japan Science and Technology Agency

共催: ポスコロSIPサブ課題A
「新たな『学び』」のデザイン開発

後援: 文部科学省
独立行政法人教職員支援機構
一般社団法人エビデンス駆動型教育研究協議会

未来の学びはどう変わるのか — 政策と実践の接続

本セッションでは、次期学習指導要領の方向性や、「主体的・対話的で深い学び」のさらなる発展に向けた議論を踏まえつつ、ポストコロナSIP サブ課題Aにおける「新たな『学び』」のデザイン開発が、これらの政策動向とどのように関係し、どのように現場実装を目指しているのかを明らかにします。

13:30	開会挨拶	プログラムディレクター (PD) 三重大学大学院地域イノベーション学研究所 教授 西村 訓弘 氏
13:35	基調講演①	学習指導要領改訂の方向性—自らの人生を舵取りすることができる民主的で持続的な社会の創り手の育成 文部科学省 初等中等教育局 教育課程課長 武藤 久慶 氏
13:50	講演	理想の未来社会と自分の人生を創造する力を育むために サブ課題Aサブプログラムディレクター (SPD) 京都大学大学院教育学研究科 教授 西岡 加名恵 氏
14:00	各研究開発テーマの取り組み紹介	教育データで実現する個別最適な学び 京都大学 学術情報メディアセンター センター長・教授 緒方 広明 氏 パフォーマンス課題とデジタル・ポートフォリオで実現する真正で探究的な学び 京都大学 名誉教授 松下 佳代 氏 学校を越えた公共的対話で実現する協働的な学び 広島大学大学院人間社会科学研究科 教授 草原 和博 氏 「新たな『学び』」を実現するための教師向けデジタルリスキング 北海道大学 データ駆動型融合研究開発拠点 (D-RED) 拠点長・大学院情報科学研究院 教授 長谷山 美紀 氏
14:25	基調講演②	教師の学びはどう変わるか — NITS の実践と「新たな『学び』」の接続 独立行政法人教職員支援機構 審議役 島谷 千春 氏
14:40	第一部のまとめ	ポストコロナSIPへの期待 文部科学省 初等中等教育局 教育課程課長 武藤 久慶 氏
14:45	休憩(15分)	

「新たな『学び』」を体験する — 実践に向けた第一歩

本セッションでは、教育データの活用、探究的な学びと評価、デジタル・シティズンシップ、リスキングといった各研究開発テーマについて、実際の教育コンテンツやツールを体験できるワークショップを実施します。

※ノートパソコンをご持参ください

	【A会場】 (オンライン参加者はA会場のみ)	【B会場】
15:00	学校を越えた公共的対話としての遠隔授業 (DCC体験) 広島大学大学院人間社会科学研究科 教授 草原 和博 氏 本ワークショップでは、複数の学級をオンラインで結んで対話的・協働的に学ぶDCC授業を模擬体験いただけます。参加者は、3つ程度のグループに分かれて、(過疎地または都市部の)学級の児童生徒として公共的課題の探究に取り組みます。ソフトバンク社と共同開発した授業支援AIアプリも体験いただけます。	学習データで見える化する学び (LEAF体験) 京都大学 学術情報メディアセンター センター長・教授 緒方 広明 氏 「あなたの学び」をデータで見える化しませんか?本ワークショップでは「LEAF」を使い、学習ログから一人ひとりに適した学びが生まれるプロセスの可視化を体験します。具体的には、英語の個別学習の結果を踏まえてグループを編成し、そこでの学習を通じてあなたの成長が可視化されます。
15:50	休憩(15分)	休憩(15分)
16:05	情報技術を教えるための教師向けデジタルリスキング (DREP体験) 北海道大学 D-RED拠点長・大学院情報科学研究院 教授 長谷山 美紀 氏 北海道大学では、社会人を対象に「北海道大学デジタルリスキングプログラム (DREP)」を開発・展開しています。オンライン・オンデマンド形式でデジタルの入門知識、データ分析やAIの基礎について演習を通して学べるコースを用意しており、デジタルが必須になった教育現場の教員の皆さまに向け、当日は内容の説明および実際に受講体験をしていただけます。	パフォーマンス課題とデジタル教材を組み込んだ単元設計 (QTAL 体験) 京都大学 名誉教授 松下 佳代 氏 小学校から高校までの教科や総合の「教材コンテンツ」、パフォーマンス評価などの「研修コンテンツ」を掲載しているQTAL (Quality Teaching for All Learners) サイトを使いながら、パフォーマンス課題を軸にした単元設計やデジタル教材の使い方、評価の仕方を学びます。
16:55	休憩(15分)	休憩(15分)

「新たな『学び』」の実装に向けた課題と展望

17:10	総括セッション	「新たな『学び』」を現場に実装するための条件とは サブ課題Aサブプログラムディレクター (SPD) 京都大学大学院教育学研究科 教授 西岡 加名恵 氏
17:35	閉会挨拶	プログラムディレクター (PD) 三重大学大学院地域イノベーション学研究所 教授 西村 訓弘 氏

ポストコロナSIPとは、戦略的イノベーション創出プログラム (SIP) 第3期課題「ポストコロナ時代の学び方・働き方を実現するプラットフォームの構築」の通称です。
サブ課題Aは「新たな『学び』」をデザイン・開発しています。